

アクトシティ浜松Cゾーン「動く歩道」の撤去について

1 要旨

ガラスアーケード修繕工事と併せて、アクトシティ浜松Cゾーンの動く歩道を撤去する。

2 背景・現状

- ・ Bゾーン東側（1カ所）及びCゾーン東側（2カ所）の動く歩道は、平成26年に撤去しているが、当該歩道が1カ所残っている。（東向き・西向き各1機）
- ・ 動く歩道の踏み板ベルトの更新は、10年を目安に実施しているが、当該歩道のベルト交換は平成21年度の実施後、再び交換時期を迎えている。
（令和2年度Aゾーン1機更新実績：約25,000千円）
- ・ 動く歩道全体（市管理6機分）の年間の保守管理コストは、約10,000千円。
※民間管理2機分を除く。

3 動く歩道の利用状況に係る調査結果

楽器博物館等来場者へのアンケート調査結果（令和3年1～12月実施）[別紙1](#)

- ・ 2階入口よりも1階入口からの来館者が多かった。
- ・ Dゾーン（楽器博物館）への動線として、浜松駅方面からA、B、Cゾーンのすべての動く歩道を利用して来館する人は約9.2%、アクトシティ浜松地下駐車場からCゾーンの動く歩道を利用して来館する人は約2.7%であった。

アクトシティ浜松の歩行量調査結果（令和2年10月及び令和3年10月実施）[別紙2](#)

- ・ Aゾーンと比較すると、Cゾーンの歩行者数は約58.3%、Bゾーンはその半分以下（約24.7%）であった。

4 撤去後の対応

- ・ 浜松駅から楽器博物館への導線をわかりやすく示していく。
- ・ 当該箇所の壁面をポスター掲示場として活用するなど、アクトシティ浜松全体の集客を図っていく。

5 撤去時期

令和4年度 ガラスアーケード修繕工事と併せて実施

【当該箇所】

